

～アンケートへのご協力ありがとうございました～

第2回学校評価アンケート 平成29年12月実施（第1回は7月に実施）

平成29年度重点目標に対する評価結果（4よくあてはまる 3ややあてはまる の割合）

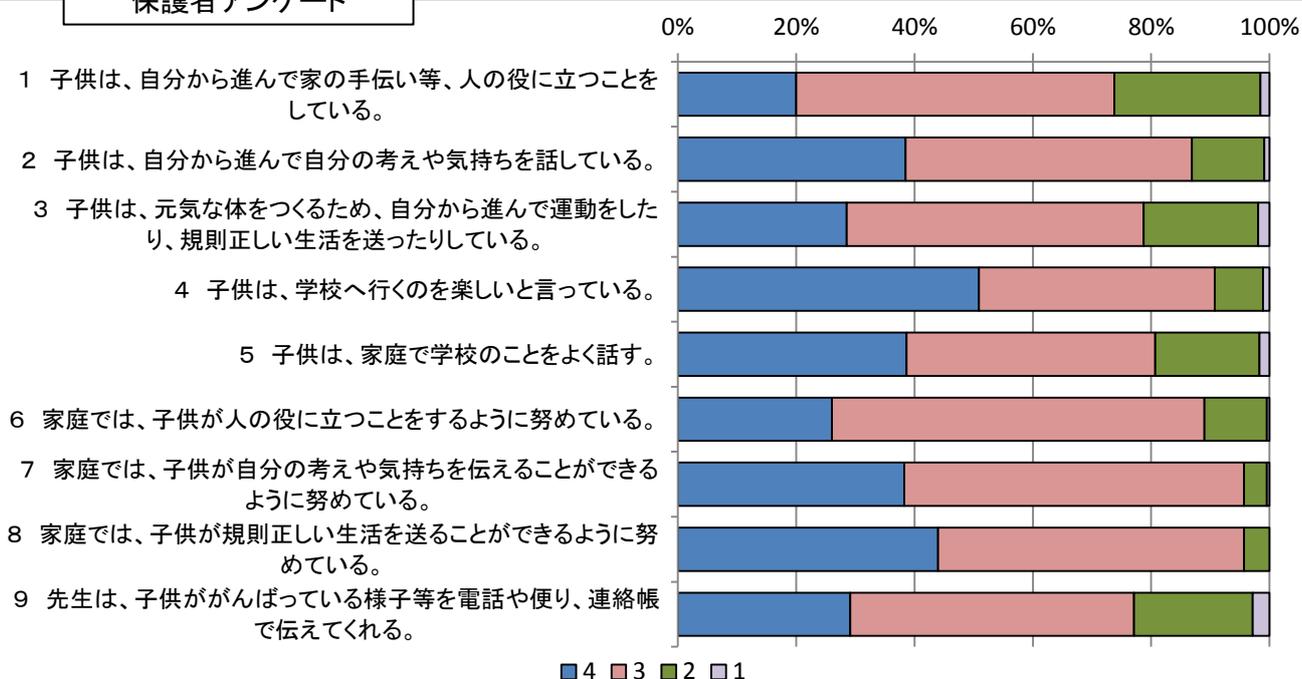
<保護者アンケート>

- 子供は、自分から進んで人の役に立つことをする。 74%（前回 77%）
- 自分から進んで自分の考えを伝える。 87%（前回 87%）
- 自分から進んで運動したり、規則正しい生活を送る。 79%（前回 82%）

<児童アンケート>

- 自分から進んで人の役に立つことをしている。 82%（前回 83%）
- 「ありがとう」と言ったり、言われたりしています。 89%（前回 91%）
- 自分から進んで自分の考えを伝えている。 72%（前回 73%）
- 自分から進んで運動に取り組んでいる。 82%（前回 87%）
- 元気な体をつくるため、朝ご飯をしっかり食べている。 81%（前回 82%）
- 元気な体をつくるため、早寝・早起きをしている。 74%（前回 76%）

保護者アンケート



今年度の重点目標に関わるアンケートでは、保護者、児童共に7月の第1回のアンケートと同様の傾向が見られました。

「人の役に立つことをしている。」において、児童アンケートからは、子供たちの日常生活の中で、「ありがとう」という言葉が多く交わされている様子が伝わってきます。しかし、自分が人の役に立っていると実感できている児童は、「ありがとう」の言葉ほど多くないこともうかがえます。自分の言動が、人の役に立ったり、相手を助けたりしていることを子供たちが実感できるようにしていきたいと思っています。

「自分の考えを伝えている。」においては、保護者評価より、児童評価が低くなっています。これは、子供たちが、授業等において自分の考えを表現できていないと感じているからだと思われます。今後は、授業改善に取り組み、グループでの話し合いを充実させたり、安心して自分の考えを表現できるような人間関係づくりに努めたりしていきたいと考えています。

「元気な体をつくる。」においては、運動機会が減少する冬期間において、なわ跳びや室内での運動を工夫し、子供たちが元気に活動できるように工夫していきたいと思っています。また、低学年に比べ高学年の方が、生活習慣に課題が見られました。ご家庭でも、「早寝・早起き・朝ご飯」に気を付けるなど、子供たちが規則正しい生活を送ることができるようにご指導をお願いいたします。